

第2 森林整備の基本方針

1 森林の機能と望ましい姿

森林の持つ様々な機能は、主に「木材等生産機能」、「水源涵養機能」、「山地災害防止機能／土壌保全機能」、「快適環境形成機能」、「保健・レクリエーション機能」、「文化機能」、「生物多様性保全機能」の7つに分類されており、このうち、水源涵養機能から生物多様性保全機能までの6つの機能は、人々の生活や周囲の環境に広く寄与することから「森林の公益的機能」と呼ばれています。

森林の機能と望ましい森林の姿

| 名称 | 働き | 望ましい森林の姿 |
|----------|------------------|--|
| 木材等生産機能 | 木材等を生産する働きがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・林木の生育に適した森林土壌を有しています。 ・適正な密度を保ち、形質の良好な林木からなり、成長量が大きい。 ・林道等の生産基盤が適切に整備されています。 |
| 公益的機能別森林 | 水源涵養機能 | <p>森林土壌が降水を一時貯留し、河川へ流れ込む水量を平準化して洪水を緩和する機能があります。また、森林土壌の濾過により水質が浄化される機能もあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水を蓄える隙間に富んだ浸透・保水能力の高い森林土壌を有しています。 ・下層植生とともに樹木の根が発達しています。 |
| | 山地災害防止機能／土壌保全機能 | <p>樹木や草木が地面を覆い、その根が土壌を押さえることにより、雨による表面土壌の流出や、土砂崩れ等が防止されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木の根が深く広く発達し、土壌を保持する能力に優れています。 ・適度な光が差し込み、下層植生が発達しています。 ・必要に応じて山地災害を防ぐ施設が整備されています。 |

公益的機能別森林

| | | |
|----------------------|---|---|
| <p>快適環境形成機能</p> | <p>森林は蒸発散作用により夏の気温を下げ、ヒートアイランド現象を緩和する機能があります。また、防風や防音などの機能により快適な環境を形成します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・樹高が高く枝葉が多く茂っているなど、遮へい能力や汚染物質の吸着能力等の機能があります。 |
| <p>保健・レクリエーション機能</p> | <p>キャンプや山登り、ハイキングなど、森林は休養・レクリエーションの場も提供しています。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・多様な樹種等からなり、住民等に憩いと学びの場を提供しています。 ・身近な自然として又は自然とのふれあいの場として適切に管理されています。 ・必要に応じて保健活動に適した施設が整備されています。 |
| <p>文化機能</p> | <p>森林は、私たちの文化とも深く関わっています。森林や森林が成立している山は様々な文化の背景・場となり、また信仰の対象ともなってきました。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・史跡・名勝等と一体となって潤いのある自然景観や歴史的風致を構成しています。 ・必要に応じて文化・教育的活動に適した施設が整備されています。 |
| <p>生物多様性保全</p> | <p>森林は樹木や草、コケなどの植物や、菌類、土壌微生物、昆虫、鳥、爬虫類、哺乳類など様々な生き物の生息・生育の場となっています。森林にはこの様な生態系や生物種、遺伝子を保全する機能があります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・原生的な森林生態系を保持しています。 ・学術的に貴重な生物種が生育・生息しています。 |